# アダムの物 (2/5): イヴの 造と、 魔の役割

:

明:最初の女性の 造、 での平 な暮らし、そして人 と 魔の の始まりについて。

目:事イスラ ムの信条 言者の物

より: ア イシャ ステイシ ( 2012 IslamReligion.com)

**⊟**06 Feb 2012

集日 06 Feb 2012



アダムは目を き、彼を凝 する女性の美しい を き みました。アダムは きのあまり、なぜ 彼女が 造されたのかを ねました。彼女は彼の寂しさを らわし、心の平 をもたらすため に 造されたことを打ち明けました。天使たちはアダムに をします。天使たちは、アダムには彼らが知らない物事の知 が わっていること、そしてその知 とは人 が地上に居住 するために必要なものであることを知っていました。彼らは言いました。「それは ですか?」アダムは答えました。「イヴです。」

イヴはアラビア でハウワ と呼ばれます。これは「生のある」を意味するハイイを 源と します。アダムが天使たちに彼女の名がイブだと告げたのは、彼女が生ある存在であ る彼の身体の一部から られたからです。

ユダヤ教とキリスト教でも同 に、イブはアダムの肋骨から られたということを えていますが、ユダヤ教における 承の逐 的翻 では「肋骨」が には「 腹」とされることもあり

ます。

#### 

言者ムハンマドにまつわる 承によると、イヴはアダムの睡眠中、彼の最も短い肋骨から られ、彼女はそこから肉体をまとったとされます。彼( 言者ムハンマド)はイヴ 造の逸 を用いて、人々が女性に 切であるよう求めました。

「ムスリムたちよ。私はあなたがたが女性に して 切であるよう忠言する。彼女らは肋骨から られたのであり、肋骨の最も歪曲した部分はその上部である。もしそれを真っ直ぐに直そうとするなら、それは折れてしまうだろう。また、もしそれをそのままにすれば、それは歪曲されたままなのである。それゆえ、私はあなたがたが女性を大事にするよう める。" (サヒ フ ブハ リ )

## 天国の住まい

アダムとイヴは で平 な暮らしをしていました。このことも、イスラ ム、キリスト教、 ユダヤ教の 承において合意されています。イスラ ムにおいて、 の全ては彼らのもので 、彼らはそれを しんでいました。神はアダムにこう告げています。"

あなたとあなたの妻とはこの に住み、何 でも望む所で、思う存分食べなさい…" (クルア ン2章35)

クルア ンでは、この がどこにあったのかを解き明かしませんが、注 者たちはそこが地上ではなかったこと、そしてその 所がどこにあったのかという知 を得ても、そのことが人 を益することはないということで合意しています。有益なこととは、そこで起こった事件の教 を理解することなのです。

神はアダムとイヴへ警告しました。

"…この木に近寄るのであれば、不 を く者となるであろう。" (クルア ン2章35) クルア ンは、この木の を明白にはしていません。それに する は存在せず、そうした知を求めることも、何の益にもならないからです。ただ、アダムとイヴは平 な暮らしをしており、その木の果 を食べることが禁じられていたことが知られています。そして

サタンは、人 の弱みに付け もうとそこで待ち伏せていたのです。

### サタンとは

サタンとは、ジンの世界からの生き物です。ジンとは、神によって炎から られた 造物です。かれらは天使、人 のどちらとも なる存在ですが、人 と同じように理性を持ち、善 を 分けることが出来ます。ジンはアダムの 造よりも前から存在しており、サタンは天使たちよりも高い地位に上げられる程、その中で最も な者だったのです。

## サタンの役割

サタンはアダムとイヴの におり、彼ら二人とその子 を欺くことを誓っていました。サタンは言いました。

"「…わたしはあなたの正しい道の上で、人々を待ち伏せるでしょう。そしてわたしは、かれらを前から ろから、そして右からも左からも いましょう…"(クルア ン7章16 17)

サタンは傲慢で、自らをアダム、つまり人 よりも れた存在であると なしていました。 かれは狡猾で、人 の弱みを理解し、彼らの 着と欲望が何であるかを していました

サタンはアダムとイヴに「あの木の を食べなさい」と言ったのでも、神に背きなさい とはっきり告げた でもありませんでした。かれは二人の心に きかけ、欲望と不 な考え を植え んだのです。サタンはアダムとイヴに言いました。

"…あなたがたの主が、この に近付くことを禁じられたのは、あなたがたが天使になり、または永 に生きる(のを恐れられた)からである…"(クルア ン7章20) 彼らの はその木のことで一杯になり、ある日ついに彼らは、その木の を食べる 心をしてしまいました。アダムとイヴは全人 が行う行 を取ってしまったのです。すなわち、

彼らは と 魔の きに苛まされ、神の警告を忘れてしまったのです。

ユダヤ教とキリスト教の 承がイスラ ムとの大きな相 を せ始めるのは、ここからです。 神の言 であるクルア ン、そして 言者ムハンマドにまつわる 承集のどこにも、サタンが 蛇の形をとってアダムとイヴの前に れたことには言及されていません。

イスラ ムでは して、二人の内イヴが劣っているということや、彼女がアダムを 惑して神に背かせたということなどを示したりはしません。木の を食べたことはアダムとイヴ双方が犯した ちなのです。彼らは二人とも同 の 任を ったのであり、それはキリスト教で言われるような原罪のことではなく、アダムの子 が先祖の犯した罪によって を受けたりすることでもありません。それは一つの 失だったのであり、神はその果てしなき 智と慈悲によって二人を赦したのです。

#### Footnotes:

1

Al Ashqar, U. (2003). *The World of Jinn and Devils*. Islamic Creed Series. International Islamic Publishing House: Riyadh.

2

Sheikh ibn Al Qayyim in Ighaathat al Lahfaan.

#### この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/1193

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。